

平成 29 年 3 月 10 日

上場会社名 株式会社 gumi 上場取引所 東  
 コード番号 3903 URL http://gu3.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國光 宏尚  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 本吉 誠 (TEL) 03 (5358) 5322  
 四半期報告書提出予定日 平成 29 年 3 月 10 日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成 29 年 4 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 28 年 5 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日)

## (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 4 月期第 3 四半期	18,726	16.5	1,240	—	1,351	—	1,100	—
28 年 4 月期第 3 四半期	16,075	△22.0	△1,623	—	△1,666	—	△2,132	—

(注) 包括利益 29 年 4 月期第 3 四半期 1,160 百万円 (—%) 28 年 4 月期第 3 四半期 △2,196 百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29 年 4 月期第 3 四半期	36	88	36	57
28 年 4 月期第 3 四半期	△72	26	—	—

(注) 1. 平成 28 年 4 月期第 3 四半期の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの 1 株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29 年 4 月期第 3 四半期	19,948	12,681	63.6
28 年 4 月期	18,688	12,515	67.0

(参考) 自己資本 29 年 4 月期第 3 四半期 12,681 百万円 28 年 4 月期 12,515 百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28 年 4 月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
29 年 4 月期	—	0.00	—	—	—	—
29 年 4 月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成 29 年 4 月期の連結業績予想 (平成 28 年 5 月 1 日～平成 29 年 4 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,726	20.0	1,340	—	1,451	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 1. 「親会社株主に帰属する当期純利益」及び「1 株当たり当期純利益」については、税効果の見積りが困難であるため記載しておりません。

## ※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年4月期3Q	30,005,500株	28年4月期	29,796,500株
② 期末自己株式数	29年4月期3Q	980,000株	28年4月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年4月期3Q	29,846,240株	28年4月期3Q	29,514,865株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第 3 四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第 3 四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は18,726,760千円、営業利益は1,240,132千円、経常利益は1,351,384千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,100,794千円となりました。

当第3四半期連結累計期間に関する主な要因は次のとおりです。

## ①売上高

当社子会社の株式会社エイリムが平成25年7月に配信を開始した「ブレイブ フロンティア（日本語版）」及び当社が同年11月に配信を開始した「ブレイブ フロンティア（海外言語版）」の売上が配信開始後の期間経過等に伴い減少いたしました。一方で、株式会社スクウェア・エニックスと共同開発し、平成27年10月に配信を開始した「ファイナルファンタジー ブレイブエクスヴィアス」及び平成28年6月に配信を開始した「FINAL FANTASY BRAVE EXVIUS（海外言語版）」、株式会社Fuji&gumi Gamesと共同開発し、平成28年1月に配信を開始した「誰ガ為のアルケミスト」、そして当社オリジナルタイトルとして、平成28年4月に配信を開始した「クリスタル オブ リユニオン」が好調に推移し売上に寄与しました。

この結果、売上高は18,726,760千円となり、前年同期に比べ、2,651,319千円の増加となりました。

## ②営業利益

営業利益は1,240,132千円（前年同期は、1,623,038千円の損失）となりました。これは主に、支払手数料率の低いタイトルが増収したこと、また、平成28年3月及び同年4月の取締役会において決議した海外拠点の再編（事業撤退・事業縮小）に伴うコスト削減等により売上原価率が低下したこと及び広告効果検証の徹底による広告宣伝費の削減等により販売費及び一般管理費が減少したことによるものです。

## ③経常利益

経常利益は1,351,384千円（前年同期は、1,666,497千円の損失）となりました。これは主に、営業外収益として持分法による投資利益142,813千円、営業外費用として為替差損52,421千円を計上したことによるものです。

## ④親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益は1,100,794千円（前年同期は、2,132,795千円の損失）となりました。これは主に、特別利益として投資有価証券売却益311,922千円、特別損失として投資有価証券評価損152,938千円、並びに法人税、住民税及び事業税280,635千円を計上したことによるものです。

なお、当社はモバイルオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は19,948,399千円となり、前連結会計年度末比1,259,950千円増加となりました。これは主に、売掛金の増加等によるものであります。

負債は7,266,799千円となり、前連結会計年度末比1,093,979千円増加となりました。これは主に、長期借入金の増加等によるものであります。

純資産は12,681,599千円となり、前連結会計年度末比165,971千円増加となりました。なお、自己資本比率は63.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月期第4四半期（※1）の連結業績予想の前提条件は以下の通りです。

なお、「親会社株主に帰属する当期純利益」及び「1株当たり当期純利益」につきましては、モバイルオンラインゲーム業界を取り巻く環境の変化が激しく、将来の課税所得が短期的に大きく変動する可能性があること等から、繰延税金資産の回収可能性を見積もることが困難なため開示しておりません。

## ① 売上高

売上高はタイトル毎に積み上げ、予想値を算出しており、既存タイトルと新規タイトルでは算出方法が異なります。

既存タイトルは、過去の売上実績等を考慮し予想値を算出しており、リリース後、一定期間を経過した後に収益が通減することを見込んで算出しております。

新規タイトルは期待値に応じて予想値を算出しております。他社IPを使用したタイトルの場合はIPの知名度等を考慮し予想値を算出しております。

なお、平成29年4月期第4四半期におきましては、上述に加え、以下の前提条件を考慮しております。

- ・既存タイトル
  - A) 「ブレイブ フロンティア」に関しては、日本語版、海外言語版ともに、配信開始後の期間経過に伴いMAUが減少することを想定しております。そのため、第3四半期と比べて約25%の売上高減少を見込んでおります。
  - B) 「ファントム オブ キル」に関しては、TVCMの実施によりMAUは増加することを見込むものの、第4四半期への売上寄与は限定的と想定しております。そのため、第3四半期と比べて約10%の売上高増加を見込んでおります。
  - C) 「誰ガ為のアルケミスト」に関しては、MAU、ARPMUともに引き続き好調に推移することを想定しております。そのため、第3四半期と比べて概ね同水準の売上高を見込んでおります。
  - D) 「クリスタル オブ リユニオン」に関しては、MAUは減少することを見込むものの、海外言語版の展開に伴うコンテンツの活性化によりARPMUが上昇することを想定しております。そのため、第3四半期と比べて約15%の売上高増加を見込んでおります。
  - E) 「シノビナイトメア」に関しては、12月度に実施した大規模アップデートにより、MAU、ARPMUともに好調に推移することを想定しております。そのため、第3四半期と比べて約130%の売上高増加を見込んでおります。
  - F) 「ブレイジングオデッセイ」に関しては、大規模アップデートを実施予定であることから、一時的にKPIが低下することを想定しております。そのため、第3四半期と比べて約80%の売上高減少を見込んでおります。

## ・その他の既存タイトル

足元のKPIを鑑み、売上高を設定しております。

## ・新規タイトル

保守的な売上高を設定しております。

（※1）平成29年4月期第4四半期：平成29年2月－平成29年4月

## ② 営業利益

営業利益は、売上原価（以下、「原価」）並びに販売費及び一般管理費（以下、「販管費」）を考慮し予想値を算出しております。原価はタイトル毎に運営費と開発費を積み上げ、予想値を算出しており、売上高同様、既存タイトルと新規タイトルでは算出方法が異なります。

既存タイトルは、過去の運営実績と今後の運営スケジュール等を考慮し予想値を算出しております。

新規タイトルのうち開発承認済みのタイトルは開発計画を考慮し、開発承認前のタイトルは過去の類似タイトルの実績等を考慮し予想値を算出しております。

なお、プラットフォームへの支払手数料及びサーバー費等の通信費は、売上高に一定割合で連動するように算出しております。

販管費は、費目別に費用を積み上げ、予想値を算出しております。

主な費目として、人件費は既存従業員に係る給与手当及び法定福利費等に加え、今後の採用計画に基づく新規採用者に係る人件費を考慮し予想値を算出しております。広告宣伝費は、新規タイトルのリリース予定やタイトル毎のプロモーション計画に合わせて予想値を算出しております。減価償却費は固定資産の取得等の設備投資計画を考慮し、また開発費は原則発生時に費用化していることから一部のタイトルを除き、ソフトウェア資産には計上しておりません。

なお、平成29年4月期第4四半期におきましては、上述に加え、以下の前提条件を考慮しております。

- A) 運営費及び開発費に含まれる人件費に関しては、国内外の人員適性化を継続していることから、第3四半期と

概ね同水準を見込んでおります。

B) 運営費及び開発費に含まれる外注費に関しては、仕掛中の新規タイトルの開発を強化することから、第3四半期と比べて大幅な増加を見込んでおります。

C) 広告宣伝費に関しては、費用対効果を徹底したプロモーションを実施予定であることから、第3四半期と比べて大幅な減少を見込んでおります。（新規タイトルの動向等により金額が増加する可能性があります。）

③ 経常利益

経常利益につきましては、営業利益に当期に発生が見込まれる営業外収益、営業外費用を考慮して算出した金額を予想値としております。なお、平成29年4月期第4四半期におきましては、営業外費用として借入金に係る支払利息を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年 4 月30日)	当第3 四半期連結会計期間 (平成29年 1 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,563,440	10,263,767
売掛金	2,085,583	3,157,755
その他	759,953	1,520,264
貸倒引当金	△28,124	△86,537
流動資産合計	14,380,853	14,855,250
固定資産		
有形固定資産	215,862	215,595
無形固定資産		
のれん	164,341	112,659
その他	752,730	731,321
無形固定資産合計	917,071	843,980
投資その他の資産		
投資有価証券	2,069,096	2,509,388
その他	1,105,564	1,524,183
投資その他の資産合計	3,174,661	4,033,572
固定資産合計	4,307,595	5,093,148
資産合計	18,688,448	19,948,399



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年 4 月 30 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成29年 1 月 31 日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	418,317	339,517
短期借入金	1,500,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	2,001,200
未払法人税等	206,952	274,399
賞与引当金	125,454	99,716
その他	2,085,550	1,494,846
流動負債合計	5,336,274	5,209,679
固定負債		
長期借入金	750,000	1,915,800
資産除去債務	86,447	136,636
その他	98	4,683
固定負債合計	836,545	2,057,120
負債合計	6,172,820	7,266,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,948,894	8,980,989
資本剰余金	8,003,532	2,974,638
利益剰余金	△4,406,934	1,754,848
自己株式	-	△1,058,400
株主資本合計	12,545,492	12,652,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△25,766	△4,832
為替換算調整勘定	△4,098	34,355
その他の包括利益累計額合計	△29,864	29,523
純資産合計	12,515,627	12,681,599
負債純資産合計	18,688,448	19,948,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)
売上高	16,075,440	18,726,760
売上原価	12,805,360	13,485,775
売上総利益	3,270,079	5,240,984
販売費及び一般管理費	4,893,118	4,000,852
営業利益又は営業損失(△)	△1,623,038	1,240,132
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,164	683
経営指導料	7,200	7,200
補助金収入	48,798	27,347
持分法による投資利益	-	142,813
その他	20,058	5,669
営業外収益合計	78,220	183,713
営業外費用		
支払利息	21,902	11,375
為替差損	60,488	52,421
株式交付費	511	-
持分法による投資損失	38,659	-
その他	117	8,664
営業外費用合計	121,680	72,461
経常利益又は経常損失(△)	△1,666,497	1,351,384
特別利益		
投資有価証券売却益	-	311,922
事業譲渡益	335,910	-
その他	10,970	-
特別利益合計	346,880	311,922
特別損失		
減損損失	385,372	-
投資有価証券評価損	164,208	152,938
事業構造改革費用	-	38,206
その他	58,050	34,766
特別損失合計	607,631	225,911
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,927,248	1,437,395
法人税、住民税及び事業税	137,861	280,635
法人税等調整額	72,672	55,965
法人税等合計	210,533	336,601
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,137,782	1,100,794
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,986	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,132,795	1,100,794

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,137,782	1,100,794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,076	20,934
為替換算調整勘定	△68,918	40,641
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△2,187
その他の包括利益合計	△58,842	59,388
四半期包括利益	△2,196,624	1,160,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,191,078	1,160,182
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,545	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年7月27日開催の第9期定時株主総会の決議により、平成28年8月30日を効力発生日として、資本準備金の額8,938,894千円を減少し、その他資本剰余金に振替え、会社法第452条の規定に基づき、資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、その他資本剰余金5,060,988千円を減少して繰越利益剰余金に振替え、欠損の補填を行っております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が8,980,989千円、資本準備金が32,094千円になっております。

また、当社は、平成29年1月25日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、当第3四半期連結累計期間において、自己株式を1,058,400千円（980,000株）取得しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己株式の残高は1,058,400千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成27年5月1日 至 平成28年1月31日）

当社グループは、モバイルオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成28年5月1日 至 平成29年1月31日）

当社グループは、モバイルオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。